

## S I P 第 3 期「豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築」 社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更について

令和 6 年 5 月 15 日

豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築

プログラムディレクター 松本 英三

今般、「豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築」においては、前回変更時点（令和 5 年 11 月）以降の研究計画の進捗、令和 6 年度の予算配分の決定等に伴い、社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更を行いたい。主な変更点は以下のとおり。

### 1. SIP「先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進」との課題間連携の内容の追記

昨年度、追加予算配分で認められた、「量子コンピュータにより、安定多収と高品質の両立を目的とした大豆ゲノムデザインを可能とする技術開発の内容（収量増加を目的とした最適な遺伝子組合せの解析、安定多収系統のさらなる高品質化に向けた遺伝子制御ネットワーク解明）」について、研究実施機関にて計画が具体化された事に伴い、実施内容と工程表を追記。

### 2. 再公募したサブ課題 E（行動科学のアプローチを用いた食生活の実現）の内容の追記

再公募により令和 5 年 10 月に研究開発責任者 3 名の条件付き採択を行ったサブ課題 E について、研究開発計画（目標、実施内容、予算配分等）の記載の具体化を行った。また、条件付き採択であることから、次年度以降の実施体制は、令和 6 年度のピアレビュー結果を踏まえて判断することを追記。

### 3. その他

令和 5 年度の進捗状況と令和 6 年度の予算額を追記した。

以上